

さいたま赤十字病院 院外報

かがやき

FREE
ご自由に
お持ちください

Vol.55
令和3年度
2号

さいたま赤十字病院は「小医」であり続けます

副院長(兼) 第一麻酔科部長 富岡 俊也

「小医は病を癒し、中医は人を癒し、大医は国を癒す」という言葉があります。これは中国の六朝時代の陳延之の著書「小品方」にある、「上医医国、中医医民、下医医病」が由来とされます。医療に大中小、あるいは上中下なんて、といった声もありそうですし、その意味もいろいろな解釈があるようです。私自身の解釈は、病気の人をみるときは、まずは訴えている病気そのものを(小医)、次に訴えている病気が一段落したら家庭環境、仕事の環境などの社会的な背景を念頭においた対応を(中医)、さらにその病気を生じてしまった要因を社会から見つける、あるいは早めに病気を見つける公衆衛生的な対応が必要である(大医)と説いていると思っています。大医は国の制度のことを指すともされ、現在、国会議員として活躍されている与野党にわたる二けたの医師の方々、この大医を意識された活動をされているのでしょうか。

ところで国民皆保険制度の敷かれたわが国では、国の施策によって医療制度は定められていますが、厚生労働省が提唱する「地域医療構想」では、「質の高い医療を効率的に提供できる体制を構築するために、医療機関の機能分化・連携を進めていく」と謳われています。これは医療機関を高度急性期・急性期・回復期・慢性期に分けていますが、さいたま赤十字病院はすべての病床がこの内の高度急性期あるいは急性期に該当します。そのため現在のところ、当院への入院患者さんたちが病院にいる期間は平均して10日間程度で、かつては手術患者さんが2か月あるいは3か月も入院していた頃とは隔世の感があります。当然のことながら、その短い期間ではその方の家庭環境、仕事の環境などの社会的な背景を念頭においた対応が難しいこともしばしばです。そのため「地域医療構想」に沿って当院が急性期病院として機能をフルに発揮するためには、中医としての機能を転院先の医療機関の方々、あるいはかかりつけの開業医の先生方をお願いできれば、と思っています。また患者さんたちにも当院の立ち位置をご理解いただき、かかりつけの開業医の先生方、あるいは転院先の医療機関の方々には中医の機能を補っていただけてください。もちろん私たち職員一同、患者さんたちが入院している期間は誠心誠意、中医の役割も意識しながら治療にあたりますが、時間等の制約で私たちが果たせない中医の機能を、ぜひ地域の開業医の先生等にお委ねください。私たちは小医として、急性期の医療を地域の方々に間断なく提供できるよう医療レベルの維持、発展に努めて参りますので、地域全体でのより良い医療機能の構築にご理解とご協力をよろしくお願いたします。

(左上の写真は開設時、右上は移転前、右下は現在の病院です)



ロボット手術

第四外科部長
芝崎 秀儒



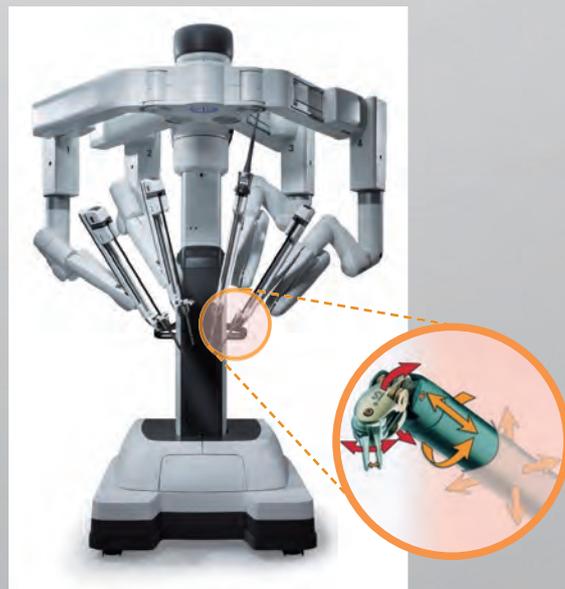
ロボット手術とは、手術支援ロボット（ダビンチ）を人間が操作して行う手術です。具体的にはまず、お腹を炭酸ガスで膨らませます（気腹）。そうしますと内臓は重力で下に落ちるのでお腹の中に空間ができます。お腹に数か所の穴を開け、その穴から径8mm程度のカメラやロボットアームを挿入します。術者はそれらを操作して手術を行います。

ダビンチは欧米を中心に1997年から臨床応用されており、我が国では2009年11月に薬事承認され、2012年4月に前立腺悪性腫瘍手術が初めての保険適用となりました。それ以降その有用性が認められ、対象となる術式が増えてきています。

ロボット手術の利点

まず、従来の開腹手術と比較して非常に小さな創で手術が可能であることです。例えば胃の開腹手術の場合、みぞおちから臍までの大きな創が必要になりますが、ロボット手術では8mm程度の創数か所と、切除したものを取り出すための**4～5cm程度の小さな創**で行うことができます。次に、とても繊細な手術が可能であるという点です。従来の腹腔鏡手術と比較し、**高精細3Dカメラ**を対象臓器に近づけて観察するため、非常に細かな構造を立体的に把握しながら手術をすることができます。さらに**ロボットアーム**は多関節により自在に動くことができ、さらに手振れ防止機能と実際の手の動きを3分の1にまで縮尺して動くモーションスケール機能により、人の手では及ばない非常に細やかな動きが可能です。一方で触覚が無いため、視覚により臓器などへの力のかかり具合を判断しなくてはならず、専用のトレーニングを要します。

現在当院ではロボット手術の施行可能な資格を取得した医師 17 名と、トレーニングを受けた看護師 21 名、臨床工学技士 5 名が在籍しており、子宮全摘術、前立腺悪性腫瘍手術、胃切除術、直腸切除術、膵切除術をロボット手術で行うことができます。ロボット手術は病気の根治性と手術の安全性を高めることが期待されており、今後さらに多くの手術に適用されることが予想されています。

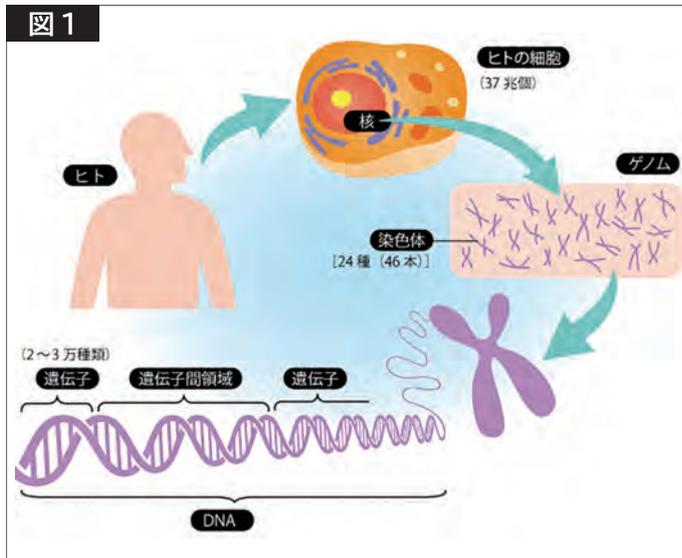


ゲノム医療の紹介



副院長
がんゲノム個別化治療室長
甲嶋 洋平

2020年4月よりさいたま赤十字病院は、がんゲノム医療連携病院に指定されました。がんゲノム医療についてお話しさせていただきます。



がんゲノム医療とは、何でしょう？

平成30年の死因別にみた死亡率で悪性新生物（がん）は、第1位となっています。これを受け第3期がん対策推進基本計画が閣議決定され、がん医療の充実の一環としてがんゲノム医療が取り上げられました。がんゲノム医療とは、何でしょう？ 少し遺伝子のお話をさせていただきます。遺伝は親から子に引き継がれる遺伝情報です。この遺伝情報の担い手が遺伝子になります。人間1人の細胞内には、約2~3万種類の遺伝子が存在します（図1）。この遺伝子が、生まれる前や生まれた後に障害を受け変化することにより様々な病気が発症します。がんもその1つです。今までは、がんが発生する臓器

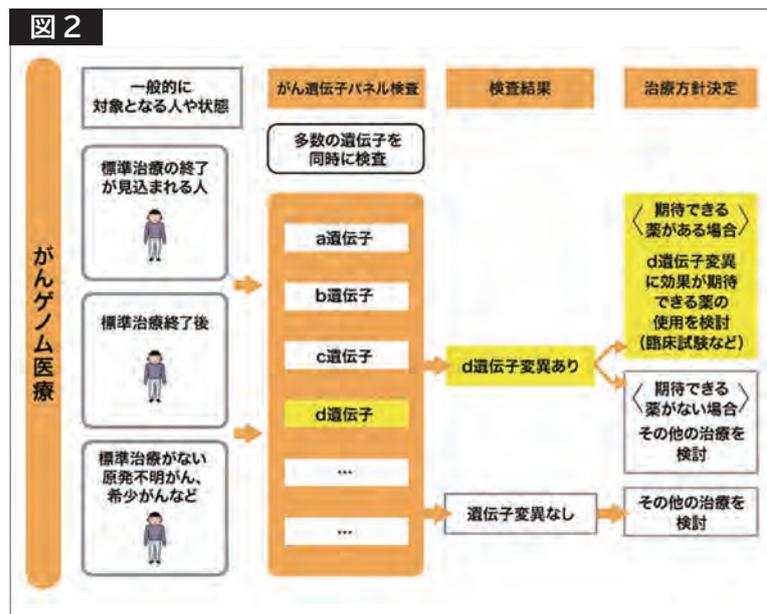
別に薬剤（抗がん剤）が決定され治療が行われてきました。しかしがんゲノム医療では、がん組織より得られた検体でがんに関係する遺伝子を網羅的に調べ、遺伝子の変異部位を検出し、その遺伝子変異部位に適した薬剤を選択します。これにより効果的な抗がん剤が選択されることになります。今までの抗がん剤治療が経験則に基づいていたのに対し、がんゲノム医療では科学的に、また、がんの発生臓器に関係なく（臓器横断的）効果があることが証明されている薬剤が使われることになります。大きくがん治療が進歩しました（図2）。

今後のおおきな課題

ただし、この治療は、現在はまだ標準治療（既存の抗がん剤治療）が終了してしまい他の治療がない、あるいは、がんの発生部位が不明（原発不明）の患者さんにしか認められていません。

また遺伝子変異部位に対応した抗がん剤は、現在開発が目覚ましいですが、まだ開発段階の薬もありすべての患者さんに使用できるわけではありません。今後の大きな課題です。

さいたま赤十字病院では、がんゲノム医療について医療機関や個人の患者さんからの相談を随時受け付ける体制を整えました。是非ご連絡をお願いいたします。



医療機関からのお問い合わせは【医療連携課】に、患者さんからの相談は【総合支援センターがん相談担当】に

健康診断のお誘い

健診部長 鵜飼 晴美

病気の予防と早期発見は、健康な生活を送ることに欠かせません。健診センターでは皆さまのご要望に応じていくつかのコースを設けて健康診断を行っており、そのなかのいくつかをご紹介します。



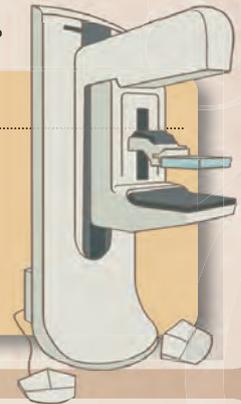
● プレミアムドック

通常の間人ドックの検査項目に、胸部 CT 検査、胃部内視鏡、乳房検査として 3D マンモグラフィ（女性のみ）を追加したコースです。通常の間人ドックより、優先した予約が可能です。

3D マンモグラフィ（トモシンセシスと言います）の利点

当院では新しい画像診断技術であるトモシンセシスを導入しています

- 病変を見出す感度と特異度が上昇して、確信度が上がる
- 若年女性での診断に、正確さが増す
- 従来のマンモグラフィーに比べ、痛みが少ない

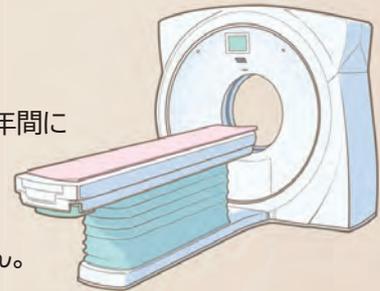


● PET-CT 健診の紹介

PET-CT 検査は、PET 検査と CT 検査を組み合わせたもので、従来の CT・MRI で判断できないようながん（5～10mm 程度）を見つけられる場合があります。単独での受診も出来ますし、他のコースにオプションとして追加することも可能です。

被ばくを心配される方

- PET 検査での被曝線量は 1 回あたり約 3.5 mSv で、これは人が 1 年間に自然界から受ける 2.4mSv の約 1.5 倍です。
- PET/CT 検査では、X 線 CT による被ばく（十数 mSv 以下）が加わりますが、この線量で急性の放射線障害は起こることはありません。



健診の勧め

コロナ禍で「健康診断」ならびに「がん検診」の受診率の低下が報道されています。1年の受診控えで、生活習慣病あるいはがんの早期発見・早期治療の機会が逸することも心配されています。例えば乳がんは日本人女性の 9 人に 1 人が生涯かかる可能性があります。5 年相対生存率は女性では 91.1% で、早期に治療すれば、そのあとは普通の日常生活を送れます。当院では、患者スペース、職員のマスク着用などに十分に配慮して、健康診断業務を行っています。

ある日突然… にならないためにも
定期的な健診を受けましょう。



入退院支援課

入退院支援課長(兼) 看護師長 **渡邊 明子**

入退院支援課では入院前より患者さんの身体的・精神的・社会的側面の問題をとらえ、退院後を見据えて**最適な医療を提供すること**を目指しています。

入院支援看護師

入院支援看護師は、入院される患者さんから生活・家族状況や介護福祉サービスの利用状況、栄養状況や服薬中の薬剤について情報を伺っております。特に抗凝固薬、抗血小板薬、抗不整脈薬、ビグアナイド系糖尿病薬、骨粗鬆症薬、ホルモン剤、経口ピルを服用中の場合は検査、手術や治療の延期につながる作用のある薬剤が含まれていることがあるため、細心の注意を払い確認をしております。

患者さんにおかれましては当院受診の際には必ずお薬手帳もしくは薬剤情報提供書をご持参頂きますよう、ご協力をお願い致します。患者さんによっては複数の開業医の先生方に受診中の方もおりますので内服されている全ての薬剤の情報提供をお願い致します。

上記に示したお薬を内服中の場合は行われる検査・治療により入院前からお薬を止める場合がございます。その際は医師・看護師から改めてご説明をさせていただきますのでご協力をお願い致します。

在宅で様々な医療処置を受けながら療養をされている患者さんにつきましては、入院後も継続した管理が必要となりますので、デバイス情報等の提供を頂けると幸いです。

入院前に患者さんから頂いた情報は入院病棟や関係部署と共有し、治療や看護に活かし安心して入院生活が送れるよう支援しております。



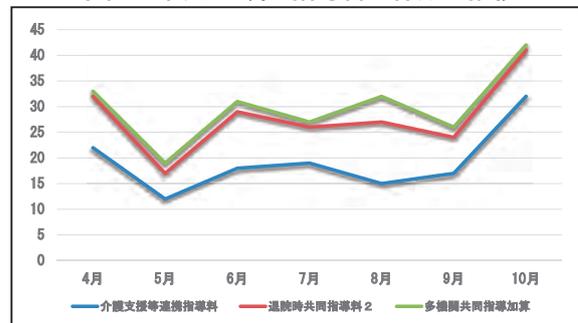
退院支援看護師

退院支援看護師は退院後も医療や看護が必要となる患者さんや在宅での生活に不安を抱えながら外来通院をされている患者さんに対して、必要な介護サービスの提案等を行い不安なく自宅での生活が送れるよう支援しております。

介護保険利用中の患者さんが入院された際には担当ケアマネージャーに連絡し、ご自宅での生活状況をお伺いすると共に今後の治療方針について情報交換を行い、速やかな退院調整を図っております。

コロナ禍においては情報通信機器を用いたカンファレンスの推進を図っております。訪問診療をお受け頂いている先生方におかれましてはオンラインカンファレンスが可能ですので、ぜひご利用ください。

令和3年度 加算・指導料の件数の推移



アドレスの登録につきましては入退院支援課までご連絡をお願いいたします。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
介護支援等連携指導料	22	12	18	19	15	17	32
退院時共同指導料2	10	5	11	7	12	7	9
多機関共同指導加算	1	2	2	1	5	2	1



医療連携課とは？

主に地域の医療機関の窓口として、患者さんと当院とを繋ぐ連携業務を行う課です。

常時6名と少人数の課ですが、チームワークを大切に業務を行っています。また当院における最新の診療情報を発信しています。



医療連携課 主事
葛西 くるみ

医療連携課の業務について

医療連携課には医療機関の方々から毎日多くの電話が入ります。患者さんの緊急受診の受入れ相談、転院の依頼や調整、紹介予約業務など種類はさまざまです。医療機関から当院の窓口として、その全ての電話に適切に対応することが主な業務です。

私の月間業務



登録医の管理

医療機関の先生方から登録医の申請をいただいた際、新規の登録業務や変更をしています。新規で登録となった場合、登録医療機関認定書を発行し送付しています。また当院ホームページや院内登録医ボードの管理も行っています。

登録医療機関検索



医療機器共同利用

CTやMRIの検査オーダー、日程調整を放射線診断科部長、放射線技師と協力のうえ予約業務を行い、検査後は検査結果の送付を行っています。

返書管理

紹介受診された患者さんに対する返書が作成され処理されているか、管理を行っています。

近隣医療機関へのお知らせ発送

毎月、翌月の外来担当医表、医師の入退職案内、当直予定表、その他の情報を登録医療機関へ郵送しています。

さいたまクロスネット登録（公開患者管理）

医療施設より患者さんの診療情報の公開についての申請があった場合、当院での診療情報の一部（同意いただいている患者さんの情報）を閲覧することができるよう、ネットワークシステムへの登録を行っています。

心がけていること

緊急受診や転院の受入れ相談の際には、医療連携課で患者さん情報を一部確認の上、当院の診療科別当番医に電話を繋いでおります。症状に合った必要な科の医師にいかにも迅速に電話を繋げるか、医療機関の先生方から聞いた内容は正確に聞きとり、きちんと当番医に伝えることを心がけています。

また、顔の見えない電話対応だからこそ相手の意志をきちんと読み取り、こちらの伝えたいことも伝えられるよう丁寧な対応、言葉遣いを大切にしています。

最後に一言

患者さんと直接接する機会は多くはありませんが、地域の医療機関の方々の先に患者さんがいることを常に心に留め、最適な医療に繋がれるよう日々業務に努めて参ります。

お仕事紹介コラム

縁の下の力持ち

診療放射線技師



という職業を知っていますか？

最近では診療放射線技師に着目した『ラジエーションハウス』というテレビドラマなどの影響によって以前に比べると名前の認知度は上がってきましたが、詳しい業務内容を知らないという方も多いと思います。診療放射線技師の主な仕事は2種類あります。



1つ目は 医師が病気を診断するために必要な画像の検査を行い提供することです。一般撮影（胸部X線撮影など）をはじめ、CT、MRI、マンモグラフィ、透視検査（バリウム検査など）、核医学検査（放射性医薬品を用いて画像化を行う検査）といった主に放射線を用いた検査により体内を画像化して診断に必要な画像を提供しています。

2つ目は 医師の検査や治療を支援することです。IVRというカテーテル治療で用いる血管造影装置の操作や手技の補助、またがんに対して放射線を当てて治療を行う放射線治療の照射や装置の管理を行い、医師が検査や治療に専念できるように支援をしています。

他にも、患者さんに使用する装置の日常点検や放射線（X線）の漏洩線量測定、患者さんごとの被ばく線量管理なども診療放射線技師の仕事です。

病院内ではあまり目立たない職種ですが、検査の方法や画像処理の仕方によって病気の見え方が異なる場合があり、医師の診断を左右するため責任は重大です。まさに縁の下の力持ちのような存在です。

医療機器は日進月歩

年々、医療機器は高度化していき、これらを扱う診療放射線技師には常に新しい技術や知識が求められます。当院では、今年度からIVR-CTという高度医療機器を導入しました。この装置は主に救急外来の現場で用いられ、CTと血管造影装置（IVRに用いる）が一体化していることによって高エネルギー外傷患者さんの検査と治療の両方を短時間で行うことができます。この他にもがんに対してピンポイントで放射線治療ができるサイバーナイフや、PET-CTなどの医療機器も導入しております。そのため当院の診療放射線技師も日々、技術向上と知識習得に励んでおります。

放射線に関することで
不明な点や不安などがある方は
お気軽に当院の診療放射線技師
にお声がけください！

放射線科部 大川 斗喜也





患者さんの声にお答えします。

ご意見

会計の「出産費用のお知らせ」は、詳細が何も記載されておらず、会計の概要が分からない。数十万という高額な支払いとなるため、明細書をあらかじめ支払い前に手渡すべきではないか。詳細が事前に分かればスムーズに支払いできると思うが、この用紙のみだと、何でプラス30万円なのかなど疑問に思う人も多いと思う、改善して欲しいです。

お答えします

この度は、高額な出産費用をお支払いいただくにも拘らず概算をお伝えしないことで、ご不快な思いをさせてしまい申し訳ありませんでした。わかりやすい出産費用のご提示ができるよう改善を進めてまいります。

ご意見

いつも世話になっております。2階のトイレを借用しました。最近トイレの中の壁のくろずみ等が目立つようになってきました。お掃除次第でもっときれいに保つことが出来るような気がします。いつまでもきれいな病院でいてくださることを願ってやみません。

お答えします

ご指摘をいただきましたトイレ清掃についてですが、清掃員によって個人差が出ないよう清掃箇所の再確認を行い、いつまでもきれいを保ち、気持ちよく利用ができるよう清掃を徹底してまいります。

ご意見

大腸検査時に、頭の上で看護師たちの私語が多く、とても嫌な気分だった。検査以外の話をするなら居てほしくありません。患者の気持ちになってください。

お答えします

検査を受ける不安の中、不快な思いをさせてしまい大変申し訳ありませんでした。業務中の態度や言葉遣いについて、スタッフに指導いたしました。今後は検査を受ける患者さんの気持ちを第一に考えた医療の提供を行っていきたいと考えております。

ご意見

1. 受診前の採血について、いつも1時間くらいで結果がわかるのに、今日は1時間半かかったようで待たされました。1時間位は想定内ですが、1時間半はイライラしました。採血時にかかる時間がわかっていたらイライラすることもなかったと思います。いつもより時間がかかるようでしたら教えていただけたらと思います。

2. 心電図の検査に約1時間待たされました。診察予約時間に大幅に遅れてしまい、ドクターに心配をかけてしまいました。もう少しスムーズなご対応をお願いします。

お答えします

この度は、長時間お待たせしたことで、不快な思いをさせてしまい申し訳ありませんでした。順番どおりに検査等を行っておりますが、混み具合により待ち時間が長くなる場合もあり、ご迷惑をおかけすることもあります。なるべくお待たせすることの無いよう今後も改善を進めてまいります。

さいたま赤十字病院の理念

赤十字の人道・博愛の精神に基づき、信頼される医療をおこないます。

さいたま赤十字病院の基本方針

1. 患者さんの権利を尊重します。
2. 地域との円滑な医療連携に努めます。
3. 医療の質の向上に努め、安全な医療を提供します。
4. 優れた医療人の育成に努めます。
5. 健康経営を推進し、働きやすく活気あふれる職場作りに努めます。
6. 国内及び国外での医療救援活動に積極的に参加します。

患者さんの権利

1. 公平で適切な医療を受ける権利
2. 個人の尊厳が保たれ、人権を尊重される権利
3. プライバシーが守られ、個人情報保護される権利
4. わかりやすい言葉で検査や治療などの説明を受ける権利
5. 自己の決定権が確認され、医療行為を選択する権利
6. 安全・安心な医療を受ける権利
7. 他施設の医師の意見（セカンドオピニオン）を聞く権利
8. 自己の診療記録等の開示を求める権利

患者さんに守っていただく事項

1. 健康に関する情報を医師や看護師等にお知らせください。
2. 医療行為については、納得したうえで指示に従ってお受けください。
3. 病院内ではルールを守り、他の人に迷惑にならないよう行動してください。
4. 診療費の支払い請求を受けた時は、速やかにお支払いください。